



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場会社名 ラサ商事株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3023 URL <http://www.rasaco.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井村 周一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長 兼企業不動産企画室長 (氏名) 大岡 隆 (TEL) 03(3668)8231
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日 平成24年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (法人向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	14,760	—	385	—	392	—	192	—
24年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 171百万円(—%) 24年3月期第2四半期 1百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	16.99	—
24年3月期第2四半期	—	—

(注) 当社は、平成24年3月期連結会計年度末日より連結財務諸表の作成を始めたため、平成24年3月期第2四半期の数値および対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
25年3月期第2四半期	百万円 25,242	百万円 9,544	% 36.7
24年3月期	25,232	9,487	36.5

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 9,274百万円 24年3月期 9,221百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 15.00
25年3月期	—	7.50	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,500	—	1,350	—	1,350	—	777	—	68.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成24年3月期連結会計年度末日より連結財務諸表の作成を始めたため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「(3)会計方針の変更・会計上の見積り の変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期2Q	12,400,000株	24年3月期	12,400,000株
25年3月期2Q	1,053,586株	24年3月期	1,000,770株
25年3月期2Q	11,346,416株	24年3月期2Q	11,191,608株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10
4. 参考情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、復興需要等を背景に、底堅さも見られましたが、世界経済の減速などから国内景気の回復が弱めの動きとなっており、さらに欧州や中国など、海外の経済環境は不確実性が高くなり、国内景気を下押しするリスクが存在し注意が必要な状況にあります。

このような経済環境のもとで当社グループは、営業活動の積極的な展開と経営効率の向上を図るよう努めました結果、売上高は、147億60百万円となりました。

営業利益は、円高や仕入コストの上昇などの影響から3億85百万円となりました。

経常利益は、営業外収支で5百万円収益が上回ったため3億92百万円となりました。

四半期純利益は、投資有価証券評価損54百万円の計上などがあり、1億92百万円となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

資源・金属素材関連では、資源価格の高騰と中国経済の鈍化から国内製造業などが影響を受けたため、関連部門の売上高は62億41百万円となり、営業利益は、1億57百万円となりました。

産機・建機関連では、各種ポンプ類の販売は堅調であったものの、建設機械関連が低調であったため、関連部門の売上高は30億41百万円となり、営業利益は3億7百万円となりました。

環境設備関連では、水砕スラグ設備の大口売上があったため、関連部門の売上高は6億70百万円となり、営業利益は2億14百万円となりました。

化成品関連では、合成樹脂が節電対策による前倒し受注などが無くなった影響があったものの、化成品が自動車関連で堅調に推移したため、関連部門の売上高は47億38百万円となり、営業利益は51百万円となりました。

不動産賃貸関連では、グループとして情報の共有化を図った結果、空室状況が改善したため、関連部門の売上高は67百万円となり、営業利益は10百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は252億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円増加しました。

(資産)

流動資産は166億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ77百万円減少しました。これは主に、商品及び製品で4億29百万円の増加等がありましたが、現金及び預金で3億71百万円、受取手形及び売掛金で1億62百万円の減少等によるものです。

固定資産は85億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ87百万円増加しました。

これは主に、投資有価証券で1億84百万円の減少等がありましたが、土地の取得による3億30百万円の増加等によるものです。

(負債)

流動負債は113億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億71百万円減少しました。

これは主に、短期借入金で19億28百万円の増加等がありましたが、支払手形及び買掛金で13億19百万円、未払法人税等で4億18百万円の減少等によるものです。

固定負債は43億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億25百万円増加しました。

これは主に、社債発行による1億10百万円の増加等によるものです。

(純資産)

純資産では95億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ56百万円増加しました。

これは主に、利益剰余金で78百万円の増加等によるものです。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び預金同等物（以下（資金）という。）は16億80百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により発生した資金の減少は20億47百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益で3億43百万円の増加等がありましたが、仕入債務の減少13億19百万円、たな卸資産の増加による資金の減少4億89百万円、法人税等の支払額5億63百万円の減少等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により発生した資金の減少は2億55百万円となりました。これは主に、投資有価証券の償還1億1百万円の増加等がありましたが、土地の取得3億30百万円による有形固定資産3億53百万円の減少等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により発生した資金の増加は19億31百万円となりました。これは主に、短期借入金19億28百万円（純額）の増加等によるものです。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、引き続き復興需要が見込まれますが、欧州や中国等、対外経済環境を巡る不確実性の高まりから、海外景気のさらなる下振れ懸念や金融資本市場の変動等が、国内景気を下押しするリスクが存在するなかで、当社の資源・金属素材関連で扱う各種商品は国際的市況の変動により業績に影響を及ぼす可能性があります。また、産機・建機関連及び化成成品関連で取扱う商品は、国内製造業を主体としたものであり、国内外の経済動向、設備投資動向の変化により、業績に影響を及ぼす可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当社及び連結子会社は、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,051	1,680
受取手形及び売掛金	9,815	9,653
商品及び製品	4,428	4,858
仕掛品	15	70
原材料及び貯蔵品	19	24
繰延税金資産	277	279
その他	132	87
貸倒引当金	△18	△9
流動資産合計	16,722	16,644
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,215	3,245
減価償却累計額	△1,630	△1,672
建物及び構築物(純額)	1,584	1,573
機械装置及び運搬具	410	409
減価償却累計額	△337	△347
機械装置及び運搬具(純額)	72	62
土地	4,399	4,730
その他	1,813	1,766
減価償却累計額	△1,755	△1,718
その他(純額)	57	47
有形固定資産合計	6,114	6,413
無形固定資産		
のれん	128	115
その他	129	123
無形固定資産合計	257	239
投資その他の資産		
投資有価証券	1,437	1,253
繰延税金資産	152	156
その他	569	557
貸倒引当金	△22	△23
投資その他の資産合計	2,137	1,944
固定資産合計	8,509	8,597
資産合計	25,232	25,242

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,111	5,792
短期借入金	2,061	3,990
1年内償還予定の社債	680	730
1年内返済予定の長期借入金	311	281
未払法人税等	563	144
賞与引当金	275	207
その他	518	205
流動負債合計	11,522	11,351
固定負債		
社債	2,274	2,384
長期借入金	915	904
繰延税金負債	435	429
退職給付引当金	505	460
その他	91	168
固定負債合計	4,221	4,347
負債合計	15,744	15,698
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,854	1,854
資本剰余金	1,623	1,623
利益剰余金	6,018	6,096
自己株式	△306	△306
株主資本合計	9,188	9,267
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27	6
繰延ヘッジ損益	4	0
その他の包括利益累計額合計	32	6
少数株主持分	266	270
純資産合計	9,487	9,544
負債純資産合計	25,232	25,242

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	14,760
売上原価	12,768
売上総利益	1,991
販売費及び一般管理費	1,606
営業利益	385
営業外収益	
受取利息	2
受取配当金	13
受取家賃	19
その他	29
営業外収益合計	64
営業外費用	
支払利息	40
保険解約損	5
その他	11
営業外費用合計	58
経常利益	392
特別利益	
固定資産売却益	9
その他	0
特別利益合計	9
特別損失	
投資有価証券評価損	54
その他	3
特別損失合計	57
税金等調整前四半期純利益	343
法人税等	145
少数株主損益調整前四半期純利益	198
少数株主利益	5
四半期純利益	192

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	198
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△19
繰延ヘッジ損益	△4
持分法適用会社に対する持分相当額	△3
その他の包括利益合計	△27
四半期包括利益	171
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	167
少数株主に係る四半期包括利益	4

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	343
減価償却費	84
のれん償却額	12
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△45
賞与引当金の増減額(△は減少)	△67
受取利息及び受取配当金	△16
支払利息	40
持分法による投資損益(△は益)	△8
有形固定資産除売却損益(△は益)	△9
投資有価証券評価損益(△は益)	54
投資有価証券売却損益(△は益)	△0
売上債権の増減額(△は増加)	162
たな卸資産の増減額(△は増加)	△489
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,319
未払金の増減額(△は減少)	△195
預り金の増減額(△は減少)	△33
未収消費税等の増減額(△は増加)	29
その他	△3
小計	△1,465
利息及び配当金の受取額	23
利息の支払額	△41
法人税等の支払額	△563
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,047
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△353
有形固定資産の売却による収入	9
無形固定資産の取得による支出	△11
投資有価証券の取得による支出	△3
投資有価証券の売却による収入	1
投資有価証券の償還による収入	101
貸付金の回収による収入	1
保険積立金の積立による支出	△99
保険積立金の払戻による収入	97
その他	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△255
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,928
長期借入れによる収入	279
長期借入金の返済による支出	△321
社債の発行による収入	890
社債の償還による支出	△730
配当金の支払額	△113
少数株主への配当金の支払額	△0
その他	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,931
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△371
現金及び現金同等物の期首残高	2,051
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,680

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	資源・金属 素材関連	産機・建機 関連	環境設備 関連	化成品 関連	不動産賃貸 関連	合計		
売上高								
外部顧客への 売上高	6,241	3,041	670	4,738	67	14,759	0	14,760
計	6,241	3,041	670	4,738	67	14,759	0	14,760
セグメント 利益	157	307	214	51	10	741	0	741

(注) 1. その他は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に事務代行手数料であります。

2. 平成24年1月に上記既存3事業の更なる拡大、深化および新たな収益基盤の確立を図るべく、主たる事業として「合成樹脂・油脂・化学品関連事業」を有するイズミ株式会社の株式を取得し、連結子会社としましたので、「化成品関連事業」を追加いたしました。また、イズミ株式会社は不動産賃貸収入を有しており、加えて平成23年10月に竣工した当社本社ビルの一部を賃貸していることから、「不動産賃貸関連事業」を追加いたしました。したがって、平成24年4月以降の新報告セグメントは、「資源・金属素材関連」、「産機・建機関連」、「環境設備関連」、「化成品関連」および「不動産賃貸関連」としております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	741
その他の区分の利益	0
全社費用(注)	△355
四半期連結損益計算書の営業利益	385

(注) 全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 参考情報

個別業績の概要

（百万円未満切捨て）

平成25年3月期第2四半期の個別業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

（1）個別経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	9,980	△7.2	323	△40.0	341	△38.9	176	△35.9
24年3月期第2四半期	10,758	△5.6	538	110.2	558	115.2	275	98.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	15.47	—
24年3月期第2四半期	24.58	24.13

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	20,060	8,830	44.0	774.67
24年3月期	20,892	8,781	42.0	770.36

（参考） 自己資本 25年3月期第2四半期 8,830百万円 24年3月期 8,781百万円